

- ① 新刊書の事前情報です。配本希望部数をご記入のうえ郵送またはFAXにてご連絡をお願い致します。  
希望部数を優先して配本しておりますので、必ずお申し込み下さい。  
② 委託期間内返品可 配本後到着の注文書は注文扱いにて出荷させていただきますのでご了承下さい。  
③ ★印の図書は特にご注目下さい。平積み頂ければ幸いです。  
④ 小局ホームページより、「新刊のご案内」最新号がダウンロードできます。併せてご利用下さい。

通巻 **280** 号

帖合・番線	部数	法政大学出版局 <b>2018年9月7日配本</b> 定価3348円(本体3100円+税) <b>有岡 利幸 著</b> <b>和紙植物</b> ★★ 和紙の歴史については多くの著述があるが、その原木である雁皮(ガンビ)、三桧(ミツマタ)、楮(コウゾ)という三種の植物について書かれたものは極めて少ない。本書は、紙が漉かれ始めた奈良時代以降から現代まで、これら原木の育成から伐採、皮剥ぎまでの工程を中心に、生産者たちの苦闘の歴史を描き、生産地の過疎化・高齢化、野生獣による被害の問題にもおよんで和紙の未来に警鐘を鳴らす。 ☆関連書:久米康生『和紙文化研究事典』、銭存訓『中国の紙と印刷の文化史(新装版)』(以上、小局刊)。	四六判上製・318頁 《ものと人間の文化史 181》 ISBN978-4-588-21811-8 C0321
-------	----	---	--

帖合・番線	部数	法政大学出版局 <b>2018年9月11日配本</b> 定価4536円(本体4200円+税) <b>アーノルド・C.ハーバーガー 著/関口 浩 訳</b> <b>費用便益分析入門</b> ハーバーガー経済学・財政学の神髄 ★ 経済的無駄の測定(ハーバーガーの三角形)、法人税転嫁、公的資金の社会的機会費用といった数々の先駆的研究によって現代経済学・財政学に大きな足跡を残してきた著者の初の邦訳。発展途上国での公的事業、貧困問題の解決に向けた政策提案の経験にもとづく、公正で効率的な資源配分をめざす「費用便益分析」の理論的エッセンスを凝縮した講義。財政・経済政策に関心をもつ読者に。 ☆関連書:ヘライナー『国家とグローバル金融』、ハーシュマン『連帯経済の可能性』(小局刊)。	A5判上製・290頁 ISBN978-4-588-64546-4 C3033
-------	----	--	---

帖合・番線	部数	法政大学出版局 <b>2018年9月14日配本</b> 定価3024円(本体2800円+税) <b>新村 拓 著</b> <b>売薬と受診の社会史</b> 健康の自己管理社会を生きる ★★ 近世の養生論の時代から健康の自己管理責任が叫ばれる現代まで、人々の保健医療行動の流れを、売薬購入と受診という行為を切口に跡づける。近世以来の売薬は、近代の医事・薬事行政のなかにどう位置づけられたのか。近世における売薬医者と薬店との競合、近現代における調剤権をめぐる医師と薬剤師の確執はいかなる展開を遂げたのか。近世・近現代の上層農民の日記を通して、その具体相に迫る。 ☆関連書:新村拓『近代日本の医療と患者』『日本仏教の医療史』『国民皆保険の時代』(以上、小局刊)ほか。	四六判上製・330頁 ISBN978-4-588-31214-4 C1021
-------	----	--	---

帖合・番線	部数	法政大学出版局 <b>2018年9月21日配本</b> 定価7020円(本体6500円+税) <b>大下 勇二 著</b> <b>連単分離の会計システム</b> フランスにおける2つの会計標準化 市場メカニズムを重視するアングロ・サクソンの思考にもとづいた「国際会計基準/国際財務報告基準(IAS/IFRS)」がグローバル・スタンダード化する一方、それとは異なる独自の会計システムを追求してきたフランス。個別会計と連結会計の次元を二元化してきた伝統的モデルは歴史的にどのように形成され、時代の要請に対応してきたのか。今日の世界経済の多様性を知るための稀少な研究。 ☆関連書:英米中心の主流派経済学・経営学とは距離を置いた、類書のない研究です。	A5判上製・510頁 ISBN978-4-588-65510-4 C3033
-------	----	---	---

帖合・番線	部数	法政大学出版局 <b>2018年9月25日配本</b> 定価4968円(本体4600円+税) <b>サラ・S・リチャードソン 著/渡部 麻衣子 訳</b> <b>性そのもの</b> ヒトゲノムの中の男性と女性の探求 ★ 今日、ヒトのXY染色体のゲノム配列を手にした遺伝学者たちは、男性らしさや女性らしさの要素「性そのもの(sex itself)」を探索している。本書は、文化的なジェンダー規範が性に関する遺伝学的理論に与えてきた影響や誤謬を明らかにし、科学的実践と論理におけるジェンダーの働きの多面性の分析を可能にする「科学の中のジェンダーのモデル化」を提唱、ポストゲノム時代のジェンダー批判的遺伝学を構築する。 ☆関連書:ローズ『生そのものの政治学』、ビルンバッハ『生命倫理学』(以上、小局刊)ほか。	四六判上製・446頁 《叢書・ユニベルシタス 1084》 ISBN978-4-588-01084-2 C1330
-------	----	---	--

帖合・番線	部数	法政大学出版局 <b>2018年9月25日配本</b> 定価9936円(本体9200円+税) <b>ベルンハルト・モールバッハ 著/井本 响二 訳</b> <b>バロックの音楽世界</b> テキスト、図像による新たな体験 ★ その語源に否定的評価を隠し持つ「バロック」時代の音楽は、ルソーが述べたように混乱した、不自然なものだったのだろうか。当時を代表する理論家マッテゾンをはじめデカルト、キルヒャー、ライプニッツらの音楽論を参照し、多数の譜例と図版によりバロック音楽の楽理的特徴と歴史的・社会的背景を解き明かす。女性音楽家の活躍、新世界への伝播も論じた決定的大著。付録CDに楽譜63点ほか参考資料を取める。 ☆関連書:モールバッハ『中世の音楽世界』『ルネサンスの音楽世界』(小局刊)。	A5判上製・588頁 ISBN978-4-588-42018-4 C1073
-------	----	---	---

ご担当者様 氏名: [ ] 担当ジャンル: [ ] TEL: [ ] E-mail: [ ]

- \* 配本部数等で事前にご連絡する場合がございます。上覧にご担当者様氏名・TELをご記入下さい。  
\* 宛名ラベルの内容に変更がございましたらお知らせ下さい。次回以降訂正致します。  
\* 今後、新刊内容のデータ等をeメールにて配信させて頂く場合がございます。よろしければメールアドレスをご記入下さい。